

# ぜん 全

# しん 進

全員で 進もう!



確かな学び通信

2026.4.8

## 子どもたちとの出会い

明日はいよいよ入学式・始業式ですね。桜の花もまだ残り、天気も晴れの予報なので、子どもたちとのいい出会いになったらいいなと思います。今回は、自分が担任をしていたときに、大切にしていたことを紹介します。明日の子どもたちと過ごす時間を考える材料にしてくださいと思います。

### ☆一人ひとりに声をかける時間をつくる

短時間でもいいので、**全員に声をかける時間**をとっています。学級通信に担任の顔を描いてもらい、見せに来た時にしゃべったり、まとめた手紙を一人ひとりに手渡す時にしゃべったりしています。バタバタの初日ですが、全員に声をかけることで、**子どもたちは少し安心して家に帰れる**と思っています。時間を捻出するために、手紙をひとまとめにする、しゃべることを通信にまとめておくなど、事前準備をしていました。

### ☆丁寧に名前を書く

最初の週は何かと名前を書く機会が多いです。新しいノートや教科書に名前を書くときは、集中して丁寧に書くよう指導します。名前は生きていく中で一番多く書くもので、親からもらった大切なものだということを伝えています。最初のノートや教科書だけでなく、テストやワークシートなど、自分の名前を書いたときは、丁寧に書けている子には○をしています。**自分が大切にしていること、子どもたちに大切にしてほしいことは、しつこいぐらい子どもたちと確認**します。

### ☆教科書について

教科書を配る際、裏表紙を見て、無償化になった話を子どもたちにしています。

現在、小学校で使われている教科書は無償で配布されていますが、かつては各家庭が購入していました。1961年、高知県長浜で、保護者や地域の人々が勉強会の中で「義務教育は無償とする」という日本国憲法の考えに触れ、教科書の無償化を求める運動を始めました。長浜の地区は厳しい部落差別により、当時は経済的な理由で教科書をそろえることが難しい家庭もあり、子どもたちの学びに差が生まれていました。こうした状況を変えたいという願いから始まったこの運動は、全国へと広がってきました。その後、国でも制度の見直しが進められ、1962年には教科書無償給与制度が実施され、段階的に無償で配布され、現在に至ります。

私たちが日々使っている教科書は、このような人々の願いと行動によって支えられています。**教科書を大切に使いながら、子どもたちと学びを深めていきたい**ですね。

保護者の皆様へ

お子様の御入学おめでとうございます。  
この教科書は、義務教育の児童・生徒に対し、国が無償で配布しているものです。  
この教科書の無償給与制度は、憲法に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するものとして、次代を担う子供たちに対し、我が国の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いを込めて、その負担によって実施されております。  
一年生として初めて教科書を手にする機会に、この制度に込められた意欲と願いをお子様にお伝えになり、教科書を大切に使うよう御指導いたします。  
文部科学省

1年生の教科書配布の際に、この紙と一緒に配られます!下の写真は5年生の教科書の裏表紙です!

この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。